

# 名古屋の働き方改革を展望

## 名古屋市が公開シンポジウム開き議論



名古屋市立大学滝子キャンパスで行われたシンポジウム

のあいさつ後、山本陽子教授が「働き方改革の展望」と題して基調報告。今年成立した「働き方改革関連法」を踏まえて、今後求められる取り組みを提言した。パネリスト報告では、名古屋市の担当者が中小企業への支援策や女性活躍推進などを紹介。ドコモCS東

海でダイバシティ(多様性)を担当する佐野将宏氏が企業としての取り組みを紹介し、NPO法人ファザリーング・ジャパンの桜井寿史理事が社会保険労務士としての立場から問題提起した。

中京大学現代社会学部の松田茂樹教授は「名古屋の働き方改革への視点―少子化、ものづくり、非典型時間労働―」をテーマに講演した。

名古屋市長立大学はこのほど、名古屋市瑞穂区の同大学滝子キャンパスで、公開シンポジウム「名古屋の働き方改革」は今」を開いた。同大学大学院経済学研究科と同研究科付属経済研究所が企画。23回目となる今回は「働き方改革」をテーマに、講演やパネルディスカッションなどを行った。会場には市民ら約150人が詰めかけた。

吉田和生経済学研究科長